

平成 29年 09月 01日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

三八快適の家

グループの名称

三八快適住宅の会

直近採択グループ番号

04-0011-0039

(グループ代表者)

代表者名

獅子内 富衛

代表者印

代表者所属先

株式会社丸勝木材

代表者所在地

青森県八戸市青葉二丁目12-14

代表者電話番号

0178-43-4007

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社丸勝木材

事務局担当者名

吉田 忠孝

印

事務局郵便番号

031-0804

事務局所在地

青森県八戸市青葉2-12-14

事務局電話番号

0178-25-7620

事務局FAX

0178-25-7616

事務局担当者E-mail

mpc@infoaomori.ne.jp

| | | | | | | | | | | |
|---|--|-----------------------------|-----------------------------|---------|--------|----------------|-----------------|----------------|----------------|---|
| B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須) | 長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数 | 申請が確実(上限100万円) | | 18 | 戸 | | | | | |
| | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円) | 10 | 戸 | | | | | |
| | | | 上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円) | 1 | 戸 | | | | | |
| | | 申請が未確定(上限100万円) | | 2 | 戸 | | | | | |
| | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円) | 1 | 戸 | | | | | |
| | | | 上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円) | 1 | 戸 | | | | | |
| | 長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数 | 申請が確実(上限100万円) | | | 戸 | | | | | |
| | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円) | | 戸 | | | | | |
| | | | 上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円) | | 戸 | | | | | |
| | | 申請が未確定(上限100万円) | | 5 | 戸 | | | | | |
| | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円) | 3 | 戸 | | | | | |
| | | | 上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円) | | 戸 | | | | | |
| | 高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数 | 申請が確実(上限100万円) | | 2 | 戸 | | | | | |
| | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円) | 1 | 戸 | | | | | |
| | | | 上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円) | | 戸 | | | | | |
| | | 申請が未確定(上限100万円) | | | 戸 | | | | | |
| | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円) | | 戸 | | | | | |
| | | | 上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円) | | 戸 | | | | | |
| | 高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数 | 申請が確実(上限100万円) | | 2 | 戸 | | | | | |
| | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円) | 2 | 戸 | | | | | |
| | | | 上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円) | | 戸 | | | | | |
| | | 申請が未確定(上限100万円) | | | 戸 | | | | | |
| | | 加算申請 | 上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円) | | 戸 | | | | | |
| | | | 上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円) | | 戸 | | | | | |
| 高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数 | 申請が確実(上限150万円) | | | 戸 | | | | | | |
| | 加算申請 | 上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円) | | 戸 | | | | | | |
| | | 上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円) | | 戸 | | | | | | |
| | 申請が未確定(上限150万円) | | | 戸 | | | | | | |
| | 加算申請 | 上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円) | | 戸 | | | | | | |
| | | 上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円) | | 戸 | | | | | | |
| 高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数 | 申請が確実(上限165万円) | | 1 | 戸 | | | | | | |
| | 加算申請 | 上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円) | 1 | 戸 | | | | | | |
| | | 上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円) | | 戸 | | | | | | |
| | 申請が未確定(上限165万円) | | | 戸 | | | | | | |
| | 加算申請 | 上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円) | | 戸 | | | | | | |
| | | 上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円) | | 戸 | | | | | | |
| C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積 | 優良建築物の申請棟数 | 申請が確実 | 棟 | / | | | | | | |
| | | | m ² | | | | | | | |
| | | 申請が未確定 | 棟 | | | | | | | |
| | | | m ² | | | | | | | |
| D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須) | 未経験工務店が多いため、施工実績のない人々を第一優先とする。 施工業者の中で長寿命型住宅、高度省エネ型住宅で建設したい施主があり、採択結果を待ち準備している施工業者を第二優先とする。 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| E. 平成28年度の執行状況(必須) | 長寿命型(長期優良住宅) | | | | | | | | | |
| | 当初予算 | 採択戸数 | 14 | 戸 | 交付申請戸数 | 14 | 戸 | 完了実績(竣工予定含む)戸数 | 14 | 戸 |
| | 補正予算 | 採択戸数 | | 戸 | 交付申請戸数 | | 戸 | 完了実績(竣工予定含む)戸数 | | 戸 |
| | 高度省エネ型(認定低炭素住宅) | | | | | | | | | |
| | 当初予算 | 採択戸数 | 1 | 戸 | 交付申請戸数 | 1 | 戸 | 完了実績(竣工予定含む)戸数 | 1 | 戸 |
| | 補正予算 | 採択戸数 | | 戸 | 交付申請戸数 | | 戸 | 完了実績(竣工予定含む)戸数 | | 戸 |
| | 高度省エネ型(性能向上計画認定住宅) | | | | | | | | | |
| | 当初予算 | 採択戸数 | 1 | 戸 | 交付申請戸数 | 1 | 戸 | 完了実績(竣工予定含む)戸数 | 1 | 戸 |
| | 補正予算 | 採択戸数 | | 戸 | 交付申請戸数 | | 戸 | 完了実績(竣工予定含む)戸数 | | 戸 |
| | 高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅) | | | | | | | | | |
| | 当初予算 | 採択戸数 | 1 | 戸 | 交付申請戸数 | | 戸 | 完了実績(竣工予定含む)戸数 | | 戸 |
| | 補正予算 | 採択戸数 | 1 | 戸 | 交付申請戸数 | | 戸 | 完了実績(竣工予定含む)戸数 | | 戸 |
| 優良建築物型 | | | | | | | | | | |
| 当初予算 | 採択棟数 | | 棟 | 交付申請戸数 | | 棟 | 完了実績(竣工予定含む)棟数 | | 戸 | |
| 当初予算 | 採択床面積 | | m ² | 交付申請床面積 | | m ² | 完了実績(竣工予定含む)床面積 | | m ² | |

| | | |
|--|--|--------------------------|
| 1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須) | (地域型住宅の名称) 三八快適の家 | (地域型住宅供給対象地域) 青森県・岩手県 |
| 2. グループの名称・結成年(必須) | (グループの名称) 三八快適住宅の会 | (結成年) 2016年 |
| 3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須) | 04-0011-0039 | |
| 4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。 | | |
| ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定 | | |
| 【平成29年度対応方針】 | | ◎、○ 記入欄 |
| ①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能 | 寒冷地であり季節風の影響もあるため住宅の気密・断熱化を重視するとともに耐久性も向上させながら平成28年度省エネ基準以上に合致した長寿命住宅を設計・施工していく。 | ◎ |
| ②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式 | 青森県産材認証制度の地域材合法木材を可能な限り使用して健康で安心・快適な家づくりをしていく。 | ○ |
| ③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール | 季節風の影響を軽減させる意味で主に北側に植栽を行う(非住宅は除く) | ◎ |
| ④①～③の背景 | 当地は東北地方の中では比較的温暖とされるが寒暖差大きく住民の高齢化に伴いヒートショックが懸念となる。季節風をしのぐ植栽はこの地域の伝統でもある。 | |
| ⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 | 団体として未経験構成員に対しての支援体制を整備する(非住宅は除く)。年内に地域型住宅のパンフレット作成し受注に活用してもらおう。 | ○ |
| イ. 効率的な住宅生産体制の整備 | | |
| 【平成29年度対応方針】 | | ◎、○ 記入欄 |
| a | 標準的寸法の用材を使用する。 | |
| ①-1 用材の寸法規格化 | ■ 行っていない □ 行っている → 内容: | ◎ |
| ①-2 使用建材の統一 | ■ 行っていない □ 行っている → 内容: | ◎ |
| ①-3 標準仕様の設定 | □ 行っていない ■ 行っている → 内容: | ◎ |
| ②-1 建材・資材調達の商品化 | □ 行っていない ■ 行っている → 内容: | ◎ |
| ②-2 調達事務の合理化 | ■ 行っていない □ 行っている → 内容: | ○ |
| ③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置 | ■ 行っていない □ 行っている → 内容: | ◎ |
| ④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割 | □ ない ■ ある → 内容: | ◎ |
| b | 施工基準と仕様書の中で当グループの地域住宅が重視する性能を整備し、施工基準の統一化を図ることで信頼向上に取り組む。 | |
| ① グループの信頼性向上に向けた施工基準 | □ ない ■ ある → 内容: | ◎ |
| ② グループの信頼性向上に向けた検査ルール | □ ない ■ ある → 内容: | ◎ |
| ③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール | □ ない ■ ある → 内容: | ◎ |
| ④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組 | □ ない ■ ある → 内容: | ○ |
| その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 | | |

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

| | | |
|---------------------------|-----------------------|--------------------------|
| 1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須) | (地域型住宅の名称) 三八快適の家 | (地域型住宅供給対象地域) 青森県・岩手県 |
| 2. グループの名称・結成年月(必須) | (グループの名称) 三八快適住宅の会 | (結成年) 2016 年 |
| 3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須) | 04-0011-0039 | |

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

| 【平成29年度対応方針】 | | ◎、○ 記入欄 |
|--------------|--|------------|
| a | | |
| ① | 住宅履歴情報の蓄積 | |
| ①-1 | 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報システムにデータを保管する。 | ◎ |
| ①-2 | 情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: プロパティオン㈱(いえかて正会員)に蓄積する。 | ◎ |
| ①-3 | 履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局・施工店・エンドユーザーが共通IDにより確認することができる。 | ◎ |
| ② | メンテナンス基準の整備 | ○ |
| ②-1 | 点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 高度省エネ型についても、維持管理計画を作成する。 | ◎ |
| ②-2 | 補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 震度5強以上の地震地域では応急点検・補修を行う。 | ◎ |
| ②-3 | 点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期点検時期にアラームメールを設定し、関係各社に送信する。 | ◎ |
| ③ | 住まいの管理 | |
| ③-1 | 住まい管理勉強会の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局で企画検討する。 | ○ |
| ③-2 | DIY体験会等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 現場の引渡し時や施工店主催のエンドユーザー向け感謝祭などで企画する。 | ○ |
| ③-3 | その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 設備メーカーと協力して年一回「住まいの相談会」を実施する。 | ◎ |
| ④ | 維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グリーン化推進委員会が年一回、事務局と連携して構成員に周知させる。 | ◎ |
| ⑤ | その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループで共通の維持管理計画書を作成しルールを整備。メンテ状況を「いえかて」に保管管理。 | ◎ |
| b | | |
| ① | グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局に窓口を設置し、構成員の倒産又は廃業時は代替履行できる構成員を斡旋する。 | ◎ |
| ② | 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内でできるだけ瑕疵担保保険会社を一本化してチェック体制や運用方法を共有していく。 | ○ |
| その他 | ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 事務局はエンドユーザーの相談窓口となる | ◎ |

エ. グループの技術力の向上

| 【平成29年度対応方針】 | | ◎、○ 記入欄 |
|--------------|---|------------|
| a | | |
| ① | 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 補助対象現場を利用した施工構成員向けの見学会を行う。 | ◎ |
| ②-1 | 品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 高度省エネ型につき劣化対策等級2相当以上とする。 | ◎ |
| ②-2 | 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局で基礎高の寸法を確認する。 | ◎ |
| ③-1 | 需給計画の策定 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 地域型住宅の供給戸数増加に伴い地域材の需給予測を策定する | ○ |
| ③-2 | 技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネ義務化に備え「適合率向上に向けた講習会」を受講する。 | ◎ |
| ④ | ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 設計部門の構成員は外皮計算・一次エネルギー計算を習得し施工店を支援する。 | ○ |
| b | | |
| ①-1 | 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 14 今年度の参加目標人数 5 | ○ |
| ①-2 | 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 0 今年度の参加目標人数 0 | |
| ② | 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心となり省エネ技術講習会の情報提供を行い、受講対象者に通知していく。 | ◎ |
| c | | |
| ① | 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心となり省エネ技術講習会の情報提供を行い、受講対象者に通知していく。 | ○ |
| ② | 新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: | |
| その他 | ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 性能表示簡素化に伴い長期優良住宅は性能表示制度を取り入れる。 | ◎ |

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

| | | |
|--|---|--------------------------|
| 1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須) | (地域型住宅の名称) 三八快適の家 | (地域型住宅供給対象地域) 青森県・岩手県 |
| 2. グループの名称・結成年月(必須) | (グループの名称) 三八快適住宅の会 | (結成年) 2016年 |
| 3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須) | 04-0011-0039 | |
| 4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。 | | |
| オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与 | | |
| 【平成29年度対応方針】 | | |
| a | <p>① 地域材利用に関する共通ルール(必須)</p> <p>土台:合法木材証明制度によるヒバ又は桧・米桐・米ヒバ(国内・国外) 柱:合法木材のエゾ松・トド松・桧・杉・オウシュウトウヒ又はオウシュウアカマツ(国内・国外) 梁・桁:青森県産材認証制度の杉又は合法木材のオウシュウアカマツ・米松・カラ松(国内・国外)・杉</p> <p>② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)</p> <p><input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上</p> <p>③ 標準的な地域材の使用部位(必須)</p> <p>主要構造材 土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 造作材 枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</p> <p>④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明</p> | ◎、○ 記入欄 |
| b | <p>①-1 地域材在庫把握の仕組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が木材流通業者と連携して在庫状況を把握している</p> <p>①-2 地域材価格の共有の仕組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が木材流通業者と協力して在庫価格の情報を得ている</p> <p>② グループ全体における地域材の需給予測 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 需給変化の多い国産材についての予測を施工構成員に通知する</p> | ◎ |
| c | <p>①-1 畳の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>①-2 和瓦の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>①-3 襖の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>①-4 障子の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>②-1 その他地域の伝統的な素材の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> | |
| d | <p>① 地域の伝統的なデザインを継承する取組 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 「やませ」が発生する寒冷地であるため、室内に物干し場を設ける。</p> <p>② 地域の住まい方の継承につながる取組 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>③ 地域の街並み形成へ寄与する取組 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>④ 和の住まいの要素を取入れた取組 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。</p> | ◎ |
| カ. その他 | | |
| 【平成29年度対応方針】 | | |
| 東日本大震災の復興に資する取組 | | |
| 平成28年熊本地震の復興に資する取組 | | |

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

| | | |
|---------------------------|-----------------------|--------------------------|
| 1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須) | (地域型住宅の名称) 三八快適の家 | (地域型住宅供給対象地域) 青森県・岩手県 |
| 2. グループの名称・結成年月(必須) | (グループの名称) 三八快適住宅の会 | (結成年) 2016 年 |
| 3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須) | 04-0011-0039 | |

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

「三八快適の家」の高度省エネ型(住宅)の仕様

- ・平均外皮熱貫流率を3地域：0.50W/(m²K)以下、もしくは、それを下回ることを目標値とする。
- ・低炭素住宅は0.56W/(m²K)以下、もしくは、それを下回ることを目標値とする。
- ・性能向上住宅は0.56W/(m²K)以下、もしくは、それを下回ることを目標値とする。
- ・サッシはLOW-Eペア硝子、熱貫流率2.33以下の商品を使用。
- ・断熱材 天井：熱伝導率0.052以下 壁：熱伝導率0.038以下 床・基礎：熱伝導率0.028以下の物を使用する。
- ・高効率給湯機はJIS効率2.7以上の商品を使用。
- ・照明器具はLED使用する。
 - ・換気は第1種換気(熱交換有り)又は第3種換気を採用する。
 - ・プランは熱損失の少ないプランを重視する。(開口部を検討課題)
 - ・ゼロエネ住宅はBELS 認証取得する。